

地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

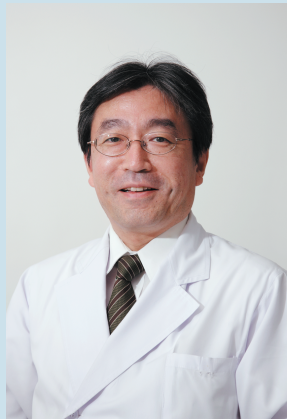
地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
医療サービス推進課医療連携室
Vol.57 2015年7月発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL 03(3964)1141 (代表)

FAX 03(3964)1982 (代表)



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
副院長 原田 和昌

地域の先生方には、患者さまのご紹介ならびに受け入れにご協力頂き心より御礼申し上げます。

当センターが新施設に移転してはや2年が経過いたしました。医療環境が激変するなかで何とか運営できているのは先生方のおかげです。当センターは先生方によりよいサービス（顔の見える連携）が提供できるよう、平成25年2月に独自の連携医制度を発足させましたが、現在700名を超える先生方に登録を頂いております。

救急患者さまのさらに迅速な受け入れのため、救急専門医である吉田昌文医師が昼間の救急の電話を一括して受ける方式に変更しました。受け入れ可能のお返事にかかる時間は平均3分未満程度に短縮し、お断りも激減しました。これまで以上のご利用をお願いします。また、専門診療科へのご紹介において、患者さま自身での予約が難しいと言われる時には、地域連携枠の設定もありますので、お手数ですが連携医の先生方から下記の連携室の電話番号にご連絡ください。2-3日以内の可能な限り早い予約をお取りいたします。在宅医療連携病床は平成27年7月の病棟再編により若干病床数が減少しますが、これまでどおり、在宅医療を行われている連携医の先生方を支援する病床ですので必要時にはご連絡ください。なお、連携の先生方のために栄養指導外来を設けましたので、糖尿病、高血圧、脂質異常症で管理栄養士の食事指導が必要と判断された場合には気軽に連携室にご連絡ください。1週間程度で予約が入ります。

おかげさまで、当院は心不全や脳卒中の急性期、大腸がんの内視鏡下粘膜剥離術で都内有数の治療実績です。新たに24時間体制の「脳卒中ホットライン」を設け、東京都CCU連絡協議会の急性大動脈スーパーネットワークにも参加します。東京都大腸がん診療連携協力病院、東京都災害拠点病院の指定を受け、地域の先生方のご期待に応えるべく災害対策にも力を入れております。医師会の先生方との共催による医学講演会や臨床病理カンファレンスもこれまで以上に充実させていきたいと思っておりますので、時々HPを閲覧してください。今一層のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



～医療連携室直通電話のご案内～

医療連携室直通：03-3579-6963（平日9：00～17：00）
代表電話：03-3964-1141 内線1139～1142でも承ります。

医療連携室では直通電話番号をご用意しております。迅速な対応に努めておりますので是非ご利用下さい。

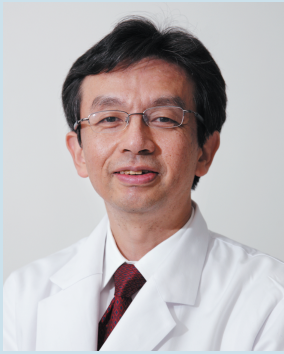
予約専用電話	検査予約	医療連携室
(外来予約専用) 03(3964)4890 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	(代表電話番号) 03(3964)1141 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度 (内線2187) ◎RI (SPECT、PET検査) (内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っております。	医療連携についての問い合わせ (代表電話番号) 03(3964)1141 (内線: 1139～1142) FAX: 03(3964)1392 ホームページ: http://www.tmg Hig.jp/ (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)

●東武東上線「大山」駅下車
南口・北口より徒歩4分

●都営地下鉄三田線
「板橋区役所前」駅下車
A2出口より徒歩11分
お車でお越しの方に駐車場（駐車料無料）も御用意しております。駐車台数に限りがあることを、予めご承知おきください。



糖尿病・代謝・内分泌内科のご紹介



糖尿病・代謝・内分泌内科（内科総括部長）
荒木 厚

糖尿病・代謝・内分泌内科は常勤医7名、シニアレジデント1名、非常勤医2名が病棟、外来の診療に当たっています。9階西病棟の26床で年間約400名の入院患者を担当し、その内8割が糖尿病となっています。当科は従来から高齢者糖尿病の臨床研究の情報を国内外に発信してきましたが、今後も全国の高齢者糖尿病の診療モデルとなるような新しい医療を行って行きたいと思っています。

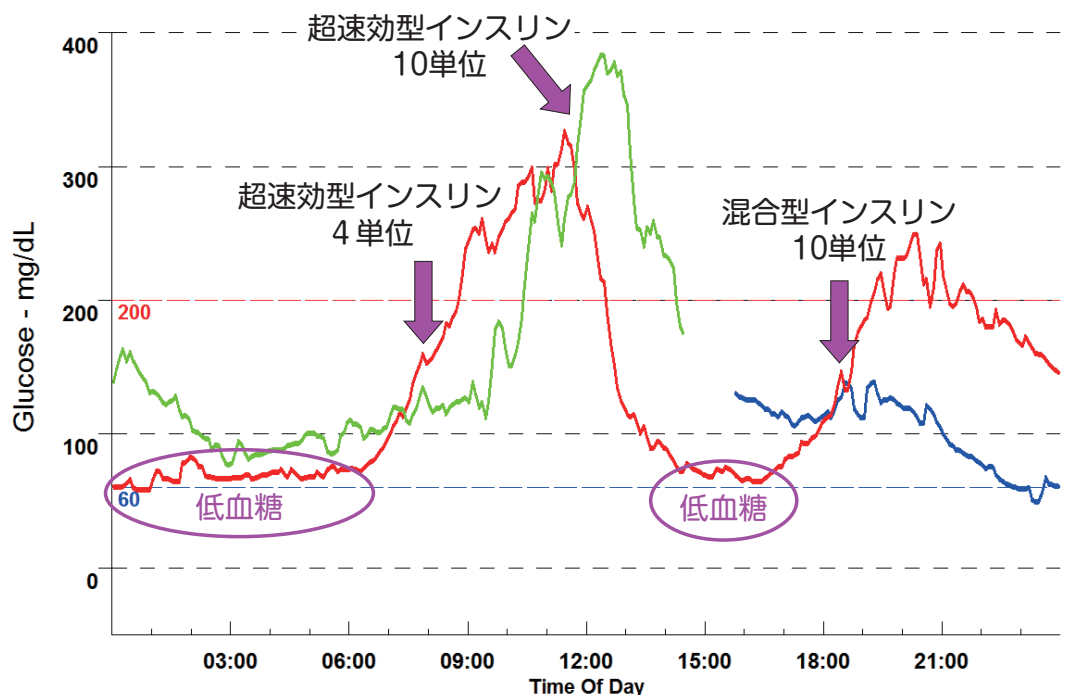
高齢者糖尿病だけでなく、新病院になってからは若い糖尿病、1型糖尿病、ケトアシドーシスの患者も多く担当しています。また、外来では甲状腺疾患も多くご紹介いただいています。

当科の特徴は臨床カンファレンス（週1回）、高齢者総合機能評価（CGA）、医師、看護師、栄養士、薬剤師、栄養士、ケースワーカーの多職種チームによる退院支援カンファレンス（週2回）などにより、適切な薬剤を選択し、在宅での療養生活に必要な教育を行っていることです。持続ブドウ糖モニター（CGM）の結果を参考に、無自覚な低血糖がないことを確認し、内服薬やインスリンの量を決めております（図1）。また、インスリンが継続困難な患者さんの場合には治療の単純化を行い、インスリンを離脱したり、インスリンの回数を減らしたりすることもよく行っています。糖尿病の教育では、低血糖の防止や体調不良時の対処法にも力を入れています。

したがって、以下のような目的でご紹介いただくようお願い申し上げます。

- ①血糖コントロールと糖尿病教育
- ②血糖の状態の確認（CGMによる低血糖、高血糖、血糖変動の評価）
- ③合併症の評価（腎症評価、神経伝導速度、心エコー、脳MRI、頸動脈IMT、ABI）
- ④インスリン導入や治療の再検討
- ⑤その他（体重減少などの精査）

図1 CGMによる
無自覚性低血糖の発見



栄養指導外来、フットケア外来のご紹介

栄養指導外来

管理栄養士による糖尿病やメタボの患者さんの**栄養指導の外来**を月曜日の午前に行っています。当科の医師は食事のエネルギーを指示しますが、かかりつけ医の先生が指示していただいてもかまいません。

【ご利用方法】

- ①連携医の先生から医療連携室(03-3579-6963)へご連絡を頂きます。
- ②その場で予約日時をお伝えします。
- ③連携医の先生に郵送で栄養指導結果のご報告を行い、連携医の先生のもとで診療を継続して頂きます。

フットケア外来

糖尿病看護認定看護師 鹿島田 美奈子

糖尿病の神経障害や血管障害は、潰瘍や壊疽などの**足の合併症**を発症する要因となります。フットケア外来は**糖尿病看護認定看護師**らが足の合併症の予防を行う外来です。

医師により足病変のリスクが高いと判断された患者さんを対象にしています。

- ①神経障害や下肢末梢動脈疾患(PAD)を合併し、かつ病状が安定している
- ②足潰瘍・壊疽の既往がある
- ③腎不全や透析療法を受けているが、足の合併症のリスクが高い患者

依頼があった患者さんのお話をうかがい、その原因となる足の状態、履物、生活背景、糖尿病の状態について確認します。その上で足病変の悪化・再発予防となる**具体的な方法のセルフケア指導**(または**家族指導**)を行い、糖尿病患者さんの足を一緒に守ることをめざします。

【ご利用方法】

- ①糖尿病・代謝・内分泌内科宛ての紹介状を作成頂き、外来予約センター(03-3964-4890)で予約をお取り下さい。
- ②医師の診察後、医師から認定看護師へコンサルトを行います。
- ③治療終了後は報告書を作成し、紹介頂いた先生のもとで診療を継続して頂きます。



糖尿病ネットワーク糖尿病セミナー
17. 足の手入れより

東京都健康長寿医療センター、豊島病院合同公開CPCのご案内

このたび、平成27年度東京都健康長寿医療センター、豊島病院合同公開CPCを下記のとおり開催致します。皆様の参加を心よりお待ちしております。

開催日時: 2015年7月9日(木) 19:30~

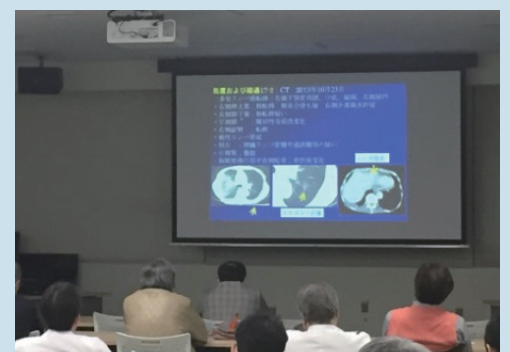
担当科: 糖尿病・代謝・内分泌内科

タイトル: 「脱水、糖尿病ケトーシスで入院加療中、意識障害の増悪を認め、MRI上両側MCA領域に急性期脳梗塞所見を呈した1例」

場所: 東京都健康長寿医療センター 3階第3会議室A・B

※本公開CPCは日医生涯教育制度(1.5単位)、日歯生涯教育制度(2単位)の対象予定です。

※事前申込不要、参加費無料です。 ※駐車場もご用意しております。



前回 公開CPCの様子

連携医療機関のご紹介 勝又内科医院



勝又 望先生

昭和39年に父 勝又昭司が中丸町に開業し、私は平成11年より引き継ぎました。

同じ地域で53年間、患者さんと一緒に年月を重ねながら内科・小児科・循環器科の診療を続けてきました。当院はご本人、お子さん、お孫さんと三代で通っている患者さんが多いのが特徴だと思います。家族関係を把握した上で必要な医療サービスの調整を心がけています。在宅医療とするか、施設が良いのか、本人や家族、ケアマネージャーを交えて決めていきます。緊急入院や精密検査が必要なとき、いつも長寿医療センターの協力をいただいております。退院後の患者さんが日常生活へ安心して戻れるよう、これからも連携していきたいと思っております。

【アクセス】

国際興業バス 中丸町バス停より徒歩3分



勝又内科医院

住 所 東京都板橋区中丸町22-7

電話番号 03-3955-7333

診療科: 内科 小児科 循環器科

休診日: 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間: 午前9時～12時 午後16時～18時

新任医師のご紹介

よろしくお願ひ致します

緩和ケア内科	部長	さいとう 英一	齋藤 英一	歯科口腔外科	医員	もり み ゆ き	森 美由紀
血液内科	医長	おぐら かず と	小倉 和	眼科	医員	てらだ ゆ き こ	寺田 祐紀子
心臓外科	医長	かわた みつひろ	河田 光弘	眼科	医員	やまもと ゆう き	山本 裕樹
神経内科	医長	かねだ だいた	金田 大太	救急診療部	医員	よしだ まさふみ	吉田 昌文
神経内科	医員	もとやま りえ	本山 りえ	麻酔科	医員	まえかわ まさき	前川 真基
神経内科	医員	やまざき みきひろ	山崎 幹大	麻酔科	医員	じょん いん ひ	鄭 仁熙
精神科	医員	つつい たくみ	筒井 卓実	リハビリテーション科	医員	しょうだ なお こ	正田 奈緒子
膠原病・リウマチ科	医員	いながき まさこ	稲垣 雅子	病理診断科	医員	せき あつ こ	関 敦子
膠原病・リウマチ科	医員	えじま まさる	恵島 将	総合診療科	医員	おおかわ ていき	大川 庭熙
消化器内科	医員	こわさき ゆ か	剛崎 有加	糖尿病・代謝・内分泌内科	医員	こでら れん み	小寺 玲美
消化器内科	医員	まつおか じゅんこ	松岡 順子				
整形外科	医員	わだ やすひろ	和田 康宏				
皮膚科	医員	ほり ともゆき	堀 智行				
泌尿器科	医員	よしだ かなえ	吉田 香苗				

(平成27年6月30日時点)

退任医師のお知らせ

お世話になりました

理事長	まつした まさあき	松下 正明
副院長	こばやし しゅう	小林 秀 (※非常勤へ)
総合内科	しいな めい こ	椎名 盟子
心臓外科	さかの やすひと	坂野 康人
整形外科	みやもと よしなり	宮本 恵成 (※非常勤へ)
緩和ケア内科	あらい かず こ	荒井 和子
眼科	ほんじょう めぐみ	本庄 恵
糖尿病・代謝・内分泌内科	きんばら よしゆき	金原 嘉之
皮膚科	むくの あきら	向野 哲
麻酔科	かわしま せいいちろう	川島 征一郎
麻酔科	はしもと よう こ	橋本 陽子
泌尿器科	つくだ い わき	津久井 和貴
膠原病・リウマチ科	い が しょうこ	伊賀 祥子 (※非常勤へ)
膠原病・リウマチ科	くすだ たけし	楠田 岳 (※非常勤へ)
呼吸器内科	かたおか あい	片岡 愛 (※非常勤へ)
精神科	はぎわら ひろ こ	萩原 寛子